

【概要・一般目標：G10】 産婦人科、小児科、腫瘍学における各疾患と病態生理ならびに検査、治療について学ぶ。 がん治療における最新の知識を習得する。
--

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	1～5回 腫瘍学における主な疾患と診断・治療法 がん治療における最新の治療		今井 腫瘍学 5回
	6～9回 小児科疾患の主な症状と診断・治療		小児 4回
	10～13回 女性生殖器疾患の主な疾患の病態、症状、診断、治療法 妊娠婦、新生児の異状における病態と診断・治療 流早産、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、妊娠高血圧症候群、 帝王切開 胎児ジストレス		産科 4回
	14～15回 神経内科的な主な疾患と診断・治療法 パーキンソン症候群 アルツハイマー病 筋萎縮性側索硬化症		今村 徹 神経内科 2回

【評価方法】 出席、定期試験	【履修上の留意点】 各科目により講義日が異なるため、連絡や掲示に留意すること
-------------------	---